

<参考資料：JOOR第2弾出展企業（ブランド）企業詳細>

■ 有限会社オフィスホドタ（BANZAY）

※Office HODOTA=あくなきチャレンジ・スピリッツで「できない」を「できる」にをモットーに、

お客様から最も信頼されるパートナーを目指し努力致します。

※BANZAY=お客様の QOL(QUALITY OF LIFE・クオリティオブライフ・生活の質) 向上を目指し
皆が”バンザイ”出来る日々を過ごせるような製品を作ります。

【SUSTAINABLE（サステナブル）】

廃棄食材を利用した生地を使用して、地球環境をファッションから考えます。

BANZAY は廃棄食材を利用した生地に抗菌防臭加工を組み合わせた生地を開発しています。

また廃棄食材を利用した生地以外にも、地球環境に配慮した生地を使用します。

【ANTIBACTERIAL&DEODORANT（抗菌&防臭）】

BANZAY で使用する生地には抗菌&防臭加工が施されています。

これにより、生活を菌から守り、臭いを解消することで QOL の向上を目指します。

【PRIDE（プライド）】

日本でニット発祥の地として知られる東京都墨田区に本社を構え、

MADE IN JAPAN、MADE IN 墨田の誇りを持って、物作りをしています。

(<http://ofhodota.com/>)

■ 株式会社ナラハラニット（Chêne）

Chêne（シェヌ）は、60年以上つづく、ベビー服・子供服の専門メーカーから誕生したブランドです。

長年培ってきたノウハウを生かして自分たちの手で良いものを提供したい、という思いで発足しました。お子様が笑顔になる”こだわりの生地”、着回しの効く上品で”シンプルなデザイン”、縫製は全て北米ブランドの厳しい審査に合格した 国内の自社工場で行っています。

また、わたしたちはアパレルメーカーとして可能な限りサステナビリティ（持続可能性）であることに使命を感じています。商品を包む袋は土に還る原料で、タグやネームも出来るだけエシカルなものにしました。

また、可能な限り在庫をなくし、受注生産型にて最短でお手元に届くプラットフォームを追求しています。

これからの赤ちゃんの未来が美しい環境であることを願って、Chêne はこれからも色々な取り組みを行っていきます。(<https://chenestore.thebase.in/>)

■ 中橋莫大小株式会社 (merippa)

スリッパのようでスリッパじゃない。靴下のようで靴下でもない。軽くて柔らかくて、しかも「洗える」。そんな新感覚のルームシューズ、それが『merippa』です。

メリッパは、1951年の創業よりカット&ソー製品を手掛けてきた、「中橋莫大小株式会社」が、デザインから縫製まで一貫して国内の自社工場で行っています。

履き心地の良さと、繰り返し洗えて、リバーシブルにもできる丈夫さ、これを実現するためには、長年の経験で培ってきた職人たちの技術と丁寧な仕事が欠かせません。

包み込むような「温もり」と「優しさ」をお届けしたく、1つ1つ丁寧に真心込めて作りました。カラーバリエーションも豊富な『merippa』。あなただけの1足をじっくりと探してみてください。

ー 1足、約100gという軽さ。

ーリバーシブルで、表と裏の両方の素材、柄を楽しめます。

ーかかとりがリブになっているため、フィットして脱げにくく踏んでも履いてもOK!

ー汚れたら簡単に洗うことが可能です。

手洗い、またはネットに入れれば洗濯機でも洗えます。

(<http://merippa.com/>)

■ 増見哲株式会社 (Kappo)

増見哲株式会社は1939年の創業以来、服飾資材と共に繊維製品の販売を行ってまいりました。その繊維製品で代表的なものとなったのがエプロンであり、割烹着でした。しかし月日は流れ、あれほどお茶の間の風景に欠かせない存在であった割烹着も、今ではその姿を見るのも困難となりました。そのような状況の中、当社としましては、割烹着をもう一度!という気持ちを共通の認識として、新たな割烹着の開発に着手致しました。そして常に念頭においているお客様のために。という気持ちから、「現代の暮らしにマッチしたおしゃれで楽しい割烹着は作れないだろうか」と考え、お家で働くあなたの強い味方になってほしいと願い、信頼の置ける日本の工場ですべてに丈夫に作った、ハウスワーキングコート：カポックが誕生致しました。(<http://apron-kappo.com/>)

■ 株式会社和興 (WAKOH)

昭和4年、東京・墨田区にて縫製業をスタート。岩手県一関市の自社工場を中心に100%国内生産の強みをいかした付加価値の高いカットソーウェアの製造に取り組んでいます。

独自の素材開発や異業種とのコラボレーションなど、既存のアパレルOEMの枠にとらわれない

新たな業態にも積極的に挑戦しています。(<https://www.wakoh.tokyo/>)



■ TOKYO KNIT ブランド認証 2020 年度審査員

・審査委員長：

水野誠一（株式会社 IMA 代表取締役 / すみだ地域ブランド推進協議会 理事長）

・審査委員：

齋藤峰明（シーナリーインターナショナル代表元エルメス本社副社長）

高橋正実(MASAMI DESIGN クリエイティブディレクター すみだ地域ブランド推進協議会 理事)

萩平 勉（一般財団法人ファッション産業 人材育成機構 理事長）

栗野宏文（ユナイテッドアローズ 上級顧問 クリエイティブ・ディレクション担当）

村上 要（WWD JAPAN.com 編集長）

芳村貫太（PROJECT CHINO 代表取締役）

■ TOKYO KNIT ブランド全認証企業

株式会社アシダニット、株式会社アーテス、有限会社アートランド、伊東メリヤス工業株式会社、大石メリヤス株式会社、株式会社小倉メリヤス製造所、有限会社オフィスホドタ、株式会社川合染工場、株式会社川島メリヤス製造所、株式会社川邊莫大小製造所、キップス株式会社、有限会社紀南莫大小工場、佐藤莫大小株式会社、株式会社サンローレル、株式会社ズーム、精巧株式会社、株式会社大染、デクストラ株式会社、中橋莫大小株式会社、株式会社ナラハラニット、株式会社沼尻スタイル研究所、阪和株式会社、樋口繊維工業株式会社、株式会社ピーコンポ、フジサキテキスタイル株式会社、増見哲株式会社、株式会社マルチョウ、丸安毛糸株式会社、丸和繊維工業株式会社、百瀬繊維株式会社、株式会社和興（アイウエオ順、全 31 社）